



ふれあい 広場



「多気不動」と呼ばれているこの像は、真っ赤に燃える炎を背にして、目をかっと見開いています。初めて見たのは、小学生のとき。「何でこんなおっかない顔をしているのかな」と思いました。

昔は、旧暦の8月1日が年に一回の御開帳の日。五、六年前までは、宵祭りも行われていました。今では、9月1日に御開帳されます。

多気山に行く道の途中の斜面には、カタクリもたくさんあったのですが、とられてしまい、今は少なくなっていました。自然を大切にしたいですね。(昭和32年6月3日、市指定文化財)。



多気の木造不動尊座像

田下町 渡辺嘉子さん

文化財ウォッチング